

特集1 高齢者を交通事故から守る ..... 2、3  
 介護ぬくもり..... 4~7  
 人材センターニュース..... 8、9  
 特集2 東日本大震災「避難者支援」 ..... 10、11  
 ほっとすぼっと 野澤 次男さん..... 12  
 シルバー110番..... 13  
 広がれ！地域福祉 忍野村社会福祉協議会..... 14  
 福祉施設訪問「ゆあーずあんどゆうず」 ..... 15  
 福祉の相談窓口 山梨県障害者相談所..... 16  
 おしらせ..... 16

# やまなしの 福祉

2011年9月号



「70年後の自分を体験しました」

(甲府市・山梨県立介護実習普及センター)  
 ※4面もご覧ください

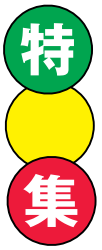
**発行** 社会福祉法人 **山梨県社会福祉協議会**

〒400-0005 甲府市北新1-2-12 TEL 055-254-8610 FAX 055-254-8614  
<http://www.y-fukushi.or.jp/>



この広報紙の作成費用の一部は赤い羽根共同募金  
 配分金により発行されています。

だれの目にも優しいカラーユニバーサル・デザイン  
 で制作した広報です



# 交通事故から お年寄りを守る



地域の交通危険箇所について講演する甲府署の渡辺雅彦交通課長

交通事故死者数に占める高齢者の割合が、年々増えています。全国の統計では、平成22年は初めて半数を超えました。高齢化社会の進展に伴って、高齢者の事故はさらに増える恐れがあります。高齢者に迫る危険を防ぐには、どうしたらよいのでしょうか。地域に密着した活動を通して、交通安全について考えました。

## 緊急集會に200人

甲府市上石田3丁目にある市のコミュニティ施設「石田悠遊館」。広い集會室

200人を超える高齢者が集まり、安全への関心が高まった



## 地域の危険な場所チエック

の正面には、大きな垂れ幕が掲げられています。「緊急高齢者交通事故防止住民集會」。「緊急」の赤い文字が目飛び込んできます。

「この道は坂道で、自転車の通行がとて多い場所です。歩行者との接触事故がよくあるので、みなさん注意してください」

200人を超える石田地区の高齢者を前に、甲府警察署の渡辺雅彦交通課長の話が始まりました。題して『地域の交通危険箇所』。

「同じような幅の道路が交差している場所がありますね。どちらが優先道路かわかりますか」と渡辺課長。プロジェクターから映し出された画面を見て、みんな首をひねっています。

「ここにセンターラインが引いてありますね。こっちが優先道路。通行を妨げてはいけません」

「へえー、知らなかった」

このうち65歳以上の高齢者は22人と、全体の約45%を占めました。内訳は、道路横断中や歩いていて犠牲になったのが14人で、63.6%。乗用車などの運転中は5人、同乗者が1人、農耕機などの運転中が2人でした。

県警では、高齢者に自ら自己防衛に役立つてもらうと取り組んでいます。一昨年から始まった、運転免許を更新する際の講習予備検査（認知機能検査）も、その一つ。75歳以上のドライバーは、記憶力や判断力を調べる検査を受けます。免許の取り消し処分はありませんが、身体機能の変化を知るには最適です。

## 死者の45%が高齢者

昨年1年間に県内で発生

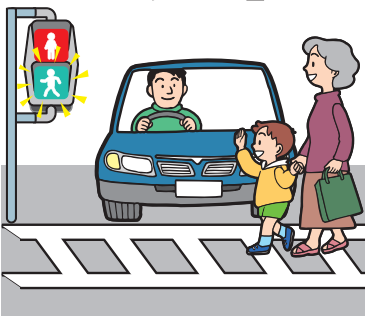
と、会場のお年寄りたち。交通ルールは案外知らないものです。それだけではありません。年を取ると身体機能も落ちてきて、交通事故に遭う機会が多くなります。



## 高齢者を守る3るーる

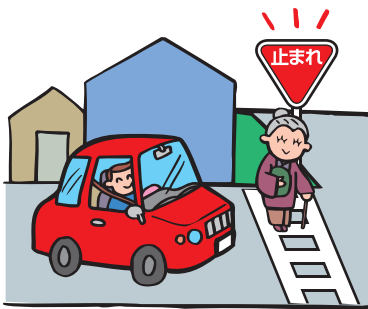
高齢者の死亡事故を抑止するには、お年寄りの歩行者に対して、ドライバーが思いやりを持った運転を心掛ける必要があります。県警は、こうした意識を高めるために、ドライバーの基本ともいえる『見る』『止まる』『ゆずる』の3つを重点とした「3るーる励行運動」を実施しています。

### 「見る」



交差点に進入する時や横断歩道に近づいた場合は、歩行者がいるかどうか、よく確認しましょう。自分が走っている車線の前方だけでなく、対向車線側も注意が必要。また、夕暮れ時や夜間は、歩行者の存在が分かりにくくなります。早めのライト点灯を。

### 「止まる」



横断歩道や、その近くを渡ろうとしている歩行者を認めたら、確実に止まりましょう。一時停止のところや見通しの悪い交差点などでは一時停止を徹底し、安全を確認します。信号のある交差点で黄信号を認めたら、無理に進入しないで止まります。

### 「ゆずる」



急がず、あわてず、常にゆとりを持って、相手にゆずる思いやり運転を心がけましょう。ゆずり合い、思いやり運転を心掛けると、気持ちが落ち着いて、余裕が生まれ、的確な判断で事故を防ぐことができます。



地域住民への情報提供に力を入れている安協石田支部の深澤祐治支部長

## 出前講座で安全川柳

緊急集会を開いた甲府交通安全協会石田支部は、3

年前から「街の危険箇所」をチェック。地域ごとに開く出前講座で紹介してきました。

「なじみ深い、身近な場所が登場するので、お年寄りも興味を持ってくれます」と話すのは支部長の深澤祐治さん。家電製品を扱っているの、現場を映像で紹介するのはお手のものです。

出前講座では、深澤支部長の「安心安全川柳」も披露され、お年寄りの人気を集めています。例えば、こんな具合！。

「わしゃまだ若い 斜め 横断一瞬油断」

会場には、下石田2丁目にある幅10mの道路が映し出され、深澤さんがナレーションを入れます。

「直角に渡ると約11秒かかります。ところが、35度で斜め横断すると22秒から23秒かかってしまいます。『まだ若いから、これくらい大丈夫』と思っても、斜め横断は絶対にしないでください。」

「情報提供が注意喚起につながっています」と深澤支部長は話しています。

「こうした地道な活動の成果が、数字に現れています。平成22年に石田地区をカバーする甲府署貢川交番の管内で起きた交通事故は177件で、死者はゼロ、負傷者233人。県全体の減少率を大きく上回りました。」

# お年寄りの生活を体感

県立介護実習普及センターは毎年、夏休みを利用して「小学生介護講座」と「青少年介護講座」を開催しています。小学生の親子や、中学生・高校生が対象。今年も、いつもより多くの参加希望者がありました。

内容は「高齢者疑似体験」と「福祉用具の体験」です。高齢者疑似体験では、腕や脚に重りやサポーターをつけ、身体の動かしづらさ

## 夏休み利用して学ぶ

を実感してもらいました。耳栓や手袋、ゴーグルをして、お年寄りの感覚を知ると「うらしま太郎体験」も行いました。

参加者は、重りやゴーグルをつけた状態で、新聞を読んだり、水の入ったやかんをガス台に載せたり、風呂を掃除しました。

「からだがすごく重く感じて、お年寄りは何をするにも大変だと思った。自

分にできることがあったら手伝いたい」「おじいちゃん、おばあちゃんに、もっと優しくしてあげたいと思った」。こんな感想が聞かれました。

今回の参加者は、お年寄りと同居している子が少なく、身近なお年寄りは「隣のおじいちゃん」「お店の人」などの答えが返ってき

ました。将来、高齢者と接する機会は必ずあると思

ますが、その時にコミュニケーションは取れるのでしょうか。介護講座をきっかけに、お年寄りと触れあう機会を増やしてほしい、と感じました。

福祉用具の体験では、簡単に作れる「あると便利な道具（自助具）」を作製してもらいました。

また、センターの福祉用具展示室では、どんな人が使いやすい、どのように便利なのか考えてもらいました。電動ベッドや電動車いす、電動カーを体験しました。

中にはポータブルトイレを見て、「これがトイレ？どこに置くの」と驚く子どもも。「電動カーで学校に行きたい」などの感想も飛び出し、みんな楽しく体験できたようでした。



ゴーグルをつけると、文字を読むのもひと苦労



自助具の「らくらくはし」を作る参加者



電動カーに体験乗車する小学生



さまざまな電動ベッドの具合を試した

詳しくは当センター（電話055・254・8680）まで、お問い合わせください。

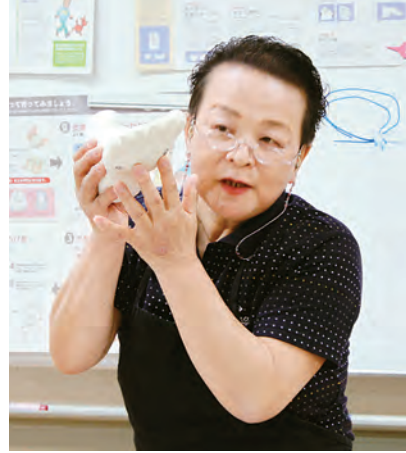


# 足元から元気になろう



私たちの体を支えている足。特に足の爪は、体のバランスを取るのにとても重要です。県立介護実習普及センターは、メディカル・フットケア・山梨代表の篠原和子さんを招いて「フットケア講座」を開きました。

## フットケアで快適生活を



「足のケアは、とっても重要」と話す篠原和子さん

篠原さんによると、足の爪は転びそうになった時に踏ん張るストッパーの役割をしています。足指や爪に異常があると、転倒につながるだけでなく、痛くて歩けないために外出がおっくうになる場合も…。

「足の指には、どんな役割があるのでしょうか」と、篠原さん。

「私たちが立ったり、歩いたりできるのは、足の指のおかげです。なかでも大きな役割を担っているのが爪

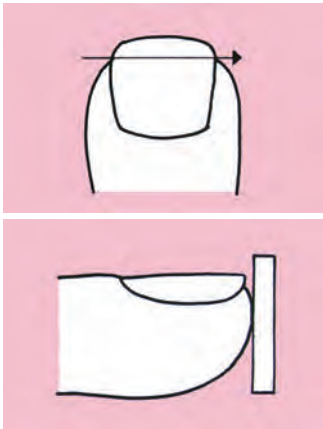
閉じこもりや寝たきりを防ぐために、普段からどのようなことに心掛けたら良いのでしょうか。

足は1日に、コップ約1杯分の汗をかいているそうです。「それも体の老廃物を

① 四角の容器とビニール袋を使った足浴



② 爪切りは、足の指の先に平らなものを当てた時、爪が当たらないように



熱心に聴き入る受講生

含んだ汗なので、ケアが一番大切なのは清潔にするのと」と篠原さん。

入浴時には、指の間や足の裏を丁寧に洗いましょう。爪と皮膚の間には垢がたま



疲れた足にご褒美を最後に、足をマッサージしましょう。血行が良

りやすいので歯ブラシで軽くこすります。風呂に入らない日は、バケツや洗面器にお湯を足首がつかるまではり、5分間ほど足浴を。足を洗うことは水虫（白癬症）などの予防になります。次に爪切り。知識がないまま爪を切ると、痛みの原因になることがあります。爪は、(図)のように足の指の形通りにまっすぐ切りまっすぐ切ったり、深く切ったりすると、巻き爪などのきっかけになります。爪切りは、できれば刃がまっすぐな爪切り用のニッパーを使いましょう。

くなります。足首をゆっくりと右に、次に左へという具合に数回ずつ回します。足の力をつけ、転倒防止にも効果的です。写真のように、足の裏のツボ（湧泉）を、ゆっくり押すのもいいでしょう。

介護ぬくもり

介護講座紹介

# 床ずれ防ぐマットやクッション

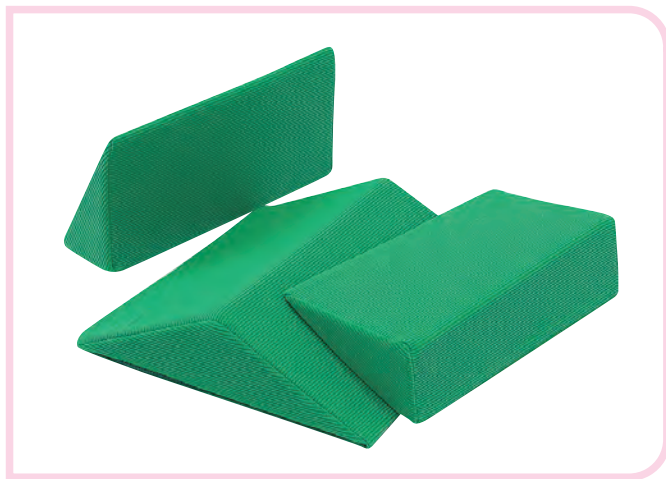
年を取って体を自由に動かせなくなると、寝返りがうまくできなくなります。そんな状態が続くと、体の同じ部分の血液の流れが妨げられ、褥瘡（じよくそう）と呼ばれる床ずれが起きてしまいます。

2時間以上、同じ姿勢を続けないようにしましょう。骨が突出している肩や腰、踵（かかと）などは、特に血流をよくすることが大切です。

床ずれ防止用具には、マットレスや体位変換用のクッションなど、さまざまなものがあります。介護保険の貸与の対象になる用具もあります。購入する前に、ケアマネジャーに相談してください。

県立介護実習普及センターの展示品の中から床ずれ防止用具を紹介します。お問い合わせは、当センター（電話055・254・8680、FAX055・254・8690）まで。

**商品名** アルファブラ  
**価格** 126,000円（税込）から  
**特徴** アルファゲルを使用したゲルサンド構造によって、局所の圧力を広範囲に分散させます。マット上で体を動かしやすいので、床ずれの心配があるけれど運動機能を維持したい方にお薦めです。



**商品名** ナーセントパットA 3点セット  
**価格** 25,200円（税込）  
**特徴** 理想的な角度（30度）で体位変換をすることができ、床ずれを防止できます。オムツ交換をする時や車いすの姿勢保持にも便利です。

**商品名** 大人用クッション  
**価格** 8,715円（税込）から  
**特徴** 体圧分散性が高く、長時間座っていてもお尻が痛くなりません。使用する方に合わせて、6種類（背用は1種類）から選べます。



# 「福祉用具の日」

10月1日に  
無料相談会

ご存知ですか？

車いすや介護用ベッド、歩行車などの「福祉用具」は、高齢者や障がい者の日常生活にとって大切なものです。しかし、一般の人にとっては、普段あまりなじみがありません。このため、いざ必要な状態になっても、どんな用具があるか知らなかったり、周囲の目を気にして使う事をためらったりすることも多いのではないのでしょうか。

高齢化が進み、ノーマライゼーションの考えが普及していく中、誰もが福祉用具を利用しやすい環境にしていけることが求められています。

福祉用具に対する理解を多くの人に深めてもらうと、日本福祉用具供給協会は10月1日を「福祉用具の日」と定め、普及・啓発キャンペーンに取り組んでいます。

これは、1993（平成5）年の福祉用具法の施行

日にちなんだものです。また、9月と10月は「福祉用具の日」推進月間でもあります。全国各地でさまざまな取り組みが展開されています。

本県でも10月1日、日本福祉用具供給協会南関東支部山梨県ブロックによる介護用ベッドや車いすなど福祉用具に関する無料相談が開かれます。場所は甲府市北新1丁目にある県立介護実習普及センター介護機器展示室です。

「福祉用具の日」の催しについては、ヤマシタコーポレーション（電話055・227・6511）まで、お問い合わせください。

## 図書紹介



著者 赤羽 みちえ  
発行所 秋田書店

2010年8月号で紹介した「のんびりいこうよ」の作者・赤羽みちえさんの作品。特別養護老人ホームで働く介護士たちの奮闘を描いた全4巻

の漫画です。介護士たちの日常を中心に、命の尊厳や家族のあり方、葛藤をリアルに描いています。絵のタッチがソフトなので見やすく、介護の

この他、介護・看護・福祉についての本255冊、ビデオ188本を貸し出しています。詳しくは県立介護実習普及センター（電話055・254・8680）にお問い合わせください。

ことを良く知らない方でも分かりやすい内容になっています。

◇ 自宅で介護するか施設に入るか悩んでいるとき、本人にとっては何が良いのか。これから介護をしていく上で、あらためて考える事のできる本です。

介護  
ぬくもり

お  
知  
ら  
せ

**38th 老人と障害者の自立のための 国際福祉機器展 H.C.R.2011**  
Int. Home Care & Rehabilitation Exhibition 2011

**会 期** 2011年10月5日(水)～7日(金)  
**開場時間** 10:00～17:00  
**会 場** 東京国際展示場「東京ビッグサイト」(東京・有明)  
**入 場 料** 無料・登録制(一部のプログラムは有料)  
**出 展** 12か国・1地域490社より約20,000点の福祉機器を総合展示  
**WEBサイト** <http://www.hcr.or.jp>

H.C.R.2011事務局 〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル  
(財)保健福祉広報協会 Tel. 03-3580-3052/Fax. 03-5512-9798

●開催内容(予定)

- 福祉機器約20,000点を総合展示
- 国際シンポジウム: 「英国のキャメロン改革と社会保障制度」(6日)を開催。
- ふくしのスキルアップ講座: 院内感染予防、高齢者の住宅、社会福祉法人の会計など保健・福祉・介護をテーマに連日開催。
- 障害児のための「子ども広場」: 子ども用福祉機器相談・療育相談も実施。
- ふくしの相談コーナー: 福祉機器などの相談コーナーを設置。
- 福祉機器開発最前線: 研究・開発中の機器や新製品を紹介。
- あるテク講座: 携帯電話など身近にあるテクノロジーの福祉的利用方法について解説・実演。
- 高齢者の生活支援コーナー: 高齢者の日々の生活を便利にするグッズや工夫がなされた製品を紹介。

その他、多彩なプログラムを実施。  
※プログラムは変更されることがあります。  
最新情報と詳細はH.C.R. Web (<http://www.hcr.or.jp>) サイトでご確認ください。



## 福祉人材センターニュース

「近所に福祉関係の会社  
がこんなにあっただなんて知  
りませんでした」

これは、甲府エリアを対  
象に開かれた『地域別小規  
模就職相談会』に参加した  
求職者の感想です。

地域別の就職相談会は、  
福祉・介護人材マッチング  
支援事業の一つ。ハローワ  
ークの圏域に合わせて、県  
内を5エリアに分割。その

地域のニーズをくみ上げた  
相談会を開催しています。

山梨県福祉人材センター  
は年2回、福祉の就職総合  
フェアを開いてきました。

しかし、県内全域を対象と  
していることから、求人事  
業所と求職者の間でミスマ  
ッチが発生することもあり

ました。

例えば、お互いに「職場環  
境がいい」「欲しい人材だ」  
と思っても、通勤距離の長  
さがネックとなって、就職

や採用を断念しなければな  
らないことがありました。

また、地域別相談会は求  
職者を若年者や新卒者に限  
定せず、潜在的な有資格者  
や転職希望者、長期離職者

まで、幅広く対応していま  
す。相談会では、求人側と

求職側がよく話し合い、施  
設を見学した上で面接とな  
ります。双方に安心感が生  
まれるようです。

平成22年度は、46求人事  
業所が参加し、有効求職者  
は201人でした。面接に  
至ったケースは29で、うち  
11人が採用されました。

福祉・介護の現場は、他  
の産業と比べても離職率が  
高い傾向が続いています。

福祉人材センターは、1件  
でも多くのマッチングがで  
きるよう、就職活動を支援  
しています。福祉・介護の  
職場を目指す人は、地域別  
の相談会に参加してみませ  
んか。

今年には既に甲府エリアと  
峡南・南アルプスエリアで  
の開催は終了しましたが、  
これからの開催予定は次の  
通りです。

# 5つのエリアでマッチング



甲府エリアの相談会には多くの事業所が  
参加した

## 地域別小規模就職相談会



熱心に相談する峡南・南アルプスエリア  
の求職者

地域別相談会に参加した  
事業所の採用担当者は「人  
材紹介機関に頼んでも、面  
接日に本人が来ないことも  
あります。その点、相談会  
に参加された人からは積極  
性を感じられ、それだけで  
安心できます」と話してい  
ました。

では、どんな人材が採用  
されるのでしょうか。担当者  
は、「人柄と人間性」という  
キーワードを挙げていまし  
た。具体的には、他人を思  
いやる気持ちや向上心、協  
調性などを重視するそうで

▼ 韮崎市・峡北エリア 9  
月14日(水) 東京エレク  
トロンホール

▼ 郡内エリア 11月開催予  
定(日時・会場未定)

▼ 峡東エリア 12月開催予  
定(日時・会場未定)

会場や日時は確定次第、  
山梨県社会福祉協議会のホ  
ームページに掲載します。  
問い合わせ先は県社会福祉  
協議会・福祉人材センター  
(電話055・254・8  
654)まで。



「介護のしごと」について話し合った昨年のシンポジウム



# 11月11日は「介護の日」

## 今年もシンポを開催 理解と認識深めよう

11月11日は「介護の日」です。介護への理解と認識を深めようと、厚生労働省が平成20年度に制定しました。語呂合わせは「いい日、いい日」です。

厚生省は、介護サービスの利用者やその家族、介護従事者らの支援とともに、これらの人たちを取り巻く地域社会における支え合いや交流の促進を掲げています。地域に暮らす社会の一員として、この日を介護について考えるきっかけにしましょう。

山梨県では昨年、「福祉・介護のしごと魅力発信事業」を実施。シンポジウムの開催や、テレビやDVDを使った啓発・周知活動を展開しました。今年も11月12日（土）、甲府市飯田5丁目にある県立大学を会場に、「福祉介護シンポジウム」を開催します。その他、県内各地で「介護の日」に関連するイベントが数多く計画されています。

### 修学資金貸し付け

介護職養成学校などに在学している学生に、山梨県社会福祉協議会は修学資金を貸し付けています。この制度は、介護福祉士などの資格取得を目指す学生を支援して、質の高い専門職を養成するのが狙いです。

- 貸付額  
・月額5万円以内

### 制度利用して しっかり学ぶ

貸付制度がスタートして今年で3年目。この4月には、制度の利用者が初めて巣立ち、福祉・介護現場に就労しました。南アルプス市にある特別養護老人ホーム白根聖明園で、介護福祉士として働き始めた野呂瀬潤さんに聞きました。

— 介護職を目指したきっかけは？

「母親が言語聴覚士をしていて、小さいころから休日になると母の仕事に付

- ・ 入学準備金20万円以内（初回のみ）
- ・ 就職準備金20万円以内（最終回のみ）
- ・ 2年間の修学の場合、最大で160万円の支援になります。
- 貸付対象者  
貸付の要件としては、  
①山梨県の介護福祉士、または社会福祉士の養成施設などに在学していること
- ②山梨県内に住所を有していること
- ③修学に際し、経済的な援助を必要としていること
- ④同種の修学資金を他から借り受けていないこと
- ⑤養成施設などを卒業後、山梨県内の施設などで介護福祉士又は社会福祉士として、引き続き5年以上介護などの業務に従事しようとする意思を有していること



車いすのお年寄りに話しかける野呂瀬潤さん

て行きました。そんな環境と、祖母や叔母の介護を身近で経験したからでしょう

— 将来の目標は？

「介護福祉士という資格に満足せず、介護サービスの利用者に対して、より専門性を持って接することができるように、将来は看護士の資格にも挑戦したい」

— 後輩に一言。

「介護の現場では、先輩職員や利用者から学ぶことがたくさんあります。しかし、基本は学生時代にしっかり学ぶことです」

— 修学資金は手助けになりましたか。

笛吹市救援物資支援センター

# 避難者の生活再建支える

## 東日本大震災

東日本大震災で被災した8万人を超える方々が、全国各地で避難生活を強いられています。県内で最も多くの避難者が生活している笛吹市では、こうした被災者の暮らしを、市と市社会福祉協議会やボランティアが運営する「救援物資支援センター」が支えています。

### 互いのつながり大切に

生活再建への抛り所  
同市にはピーク時、原発

笛吹市役所春日居支所の北別館。救援物資支援センターが設置されたのは、4月5日でした。1階のコーナーには、コメや缶詰、カップ麺などの物資がずらり。2階にも、市民から提供された衣料品が並んでいます。

事故が深刻な福島県を中心に約200人が避難。市があっせんしたアパートや施設などに身を寄せています。避難生活を続ける人たちにとって、支援センターは生活再建を目指す抛り所の一つです。

窓口には数多くのボランティアが交代で、5月まで

遊んでくださったボランティアさんの姿を見て、感謝の気持ちでいっぱいです」

6月末、避難してきた母親からこんな手紙が届きました。

「避難者の要望には、できる限り沿ってきました」と話すのは、ボランティアリーダーの大竹茂さん（73歳）。「でも一時、コメをはじめとする食料品が不足気味になったのです」

新聞の社会面に、『善意の物資 SOS』と掲載されると、朝から電話が鳴りっぱなしに。匿名で、1000キの米を送ってくれた人。宅配便で扇風機も届きました。

**センターは出会いの場**

支援センターの窓口。ボランティアリーダーの馬場武夫さん（70歳）は、麦茶を出しながら避難者に声を掛けます。「ひと休みしていただけたら」。避難してきた人と地元のボランティアとの出会いの場でもあるのです。

「これからも息の長い支援を続けていきたい。その



笛吹市救援物資支援センターを訪れた阿部省三さん（右端）と寺迫松子さん



「避難者とボランティア、物資提供者のつながりが必要」と話す大竹茂さん（左端）と馬場武夫さん（中央）

は毎日常駐。6月からは月・水・金曜日の午前中、訪れた避難者に食料品などを手渡しています。

「子どものランドセルさえ持つてくることができませんでした。センターで、ぬり絵や色えんぴつをいただきたい時の、うれしそうなお子さんの表情と、一緒に

「子どもは月・水・金曜日の午前中、訪れた避難者に食料品などを手渡しています。」

「子どものランドセルさえ持つてくることができませんでした。センターで、ぬり絵や色えんぴつをいただきたい時の、うれしそうなお子さんの表情と、一緒に



ためにはボランティアと物資提供者、避難者のつながりを深めていく必要がある」と大竹さん。

### 人のつながり実感

「古里には帰りたいが、生活していくことができるかどうか…」

救援物資支援センターを訪れた阿部省三さん(64歳)は、大竹さんや馬場さんを前にして、そんな不安を語ります。笛吹市には3月15日、母親や弟夫婦らと一緒に避難してきました。

自宅は福島県南相馬市原町区にあります。福島第1原発からは約22キロ。原発事故の状況が安定していないため、「緊急時避難準備区域」に指定され、自主的な避難が求められています。特に子どもや妊婦、高齢者などは、この地域に入らないよう要請されています。

「10日くらいで帰れると思います、着の身着のまま避難してきました。地元は放射能に汚染され、戻りたくても戻れません。はつきり

した見通しが立たないの  
ます。

「息子たちはハローワークで職を探しているが、見  
つかりません」

息子たちと避難してきてい  
が、時々訪れる支援センタ

大きな災害が起きる  
と、全国からボランティア  
が駆けつけます。こう  
した災害ボランティアの  
調整も、社会福祉協議会  
の仕事の一つです。

新潟県柏崎市社協の生  
活支援係長・大塚真光子  
さんは、2004年の中  
越震災など5つの大きな  
災害を体験。その  
度に、被災者とボ  
ランティアをつな



大塚 真光子さん

柏崎市社会福祉協議会  
生活支援係長

## 被災者の生活サポート

「息子たちはハローワー  
クで職を探しているが、見  
つかりません」

「07年の中越沖地震で  
は、1日1000人近い  
ボランティアの受け入れ  
を担当したそうですね。

「柏崎では、市が災害対  
策本部を設けたら、社協  
に災害ボランティアセン  
ターを立ち上げる約束に  
なっています。倒壊家屋  
の片づけなどの後には、  
必ず被災者の生活支援が  
待っています。社協は地  
域とつながっている組織  
なので、暮らしに寄り添

「で元気をもらっているよ  
うです。皆さんによくして  
もらって、助かります」

大地震と津波、原発事故  
で地域はバラバラになって  
しまいました。避難して  
きた笛吹市で、阿部さんた  
ちは人のつながりをあらた  
めて実感しています。

「東日本大震災でも生  
活支援相談員は重要で  
す」

「4年前に新設された  
生活支援相談員とは。  
「応急仮設住宅に暮ら  
す被災者を訪問し、悩み  
事などの相談に乗った  
り、集会所を利用したサ  
ロンを開いたりして、で  
きるだけ早く地震前の生

「柏崎では、一人暮らし  
の方への見守り支援やコ  
ミュニティづくり、再建  
に向けた寄り添いなどを  
行いました。今回の震災  
は広域災害のため、市外  
や県外に避難した方もい  
て、応急仮設住宅での困  
りごとや問題がなかなか  
表面化しないのではと予  
想されます。生活支援相  
談員が巡回訪問しなが  
ら、住民に寄り添い、復  
興に向けて支援していく  
ことが、今後より重要に  
なっていくと思います」



「いやあ、困りました。まったく反応がないんですよ」

野澤次男さん(69歳)は、初めて老人施設を訪れ、尺八を演奏した時のことが忘れられません。曲目は『黒髪』。有名な古典の一つでした。

「なじみのない曲だったので、みなさんポカンとした表情でした」

ボランティア活動を始めたのは58歳でした。東京都の職員だった野澤さんは、仕事を終えて一杯やっている時、同僚の福祉課長からボランティアの話を持ちかけられました。野澤さんが尺八の都山流師範だということが、きっかけでした。尺八を習い始めたのは、それより30年近く前のことです。職場の上司から、こ

## 尺八ボランティア 野澤 次男さん



「ボランティアをさせていただいている」と話す野澤次男さん

んなことを言われました。

「野澤君、『鶴は千年、亀は万年』というが、人間はいつたい何年だと思っ？」

変な質問だな、と思いつながら、野澤さんはこう答えました。「60年くらいですか」

「いや、違う。人間は天年だ。天が与えてくれた命だから、生きている間は自信を持って満足できる生き方を追求すべきだ、と上司。」

「そのためには、少なくとも外に二つ、内に一つ、趣味を持ちなさい」

山登りやゴルフを楽しんでいた野澤さんが選んだ「内なる趣味」が音楽でした。

3歳で終戦を迎えた少年時

## 毎月3施設で演奏/感謝の言葉が力に

代。東京から古里の敷島町(当時)に疎開してきた親子は、「トウモロコシ生活」を続けました。衣類を剥ぐようにして食べ物と交換する暮らし。食べることに精いっぱいでした。中学を卒業後、東京で教員をしていた姉を頼って上京。大学を卒業して都庁に就職してからも、音楽は縁遠い存在でした。

「音楽をやりたいと思って、音符が読めません。しかし、尺八は楽譜がカタカナで表示してあるので、何とかついていけたんです」



尺八の演奏を楽しむお年寄りら

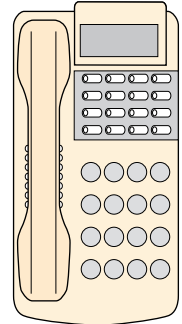
が、冒頭のボランティアでした。しかし、野澤さんはめげません。童謡や唱歌、歌謡曲などのテープやCDを購入し、耳から覚えていきました。「赤い靴」「春が来た」「影を慕いて」…。昔聴いた懐かしい曲。デイサービスにやってくるお年寄りの表情が、次第に和んで来るのが分かりました。

退職後、野澤さんは甲斐市島上条に家を建て、引っ越してきました。県のことぶきマスタ―に登録して、ボランティア活動も再開。甲斐市や甲府市にある老人施設3カ所を毎月訪れ、尺八の演奏を披露しています。

「高齢者が、よく行く遊園地はどこでしょう? そう、豊島園です」。軽妙な話術で、曲の合間をつないでいきます。

「最初に受けなかったのは、ボランティアをしてやっている、という意識が強かったからでしょう。今は、させていただくという気持ちに変わりました。『ありがとう』というお年寄りの言葉が、生きがいです」





県社会福祉協議会で設置している高齢者総合相談センターには、相続に関する相談が多く寄せられます。

問い

夫が、多額の借金を残したまま亡くなりました。遺(のこ)された私と子どもは、これらの借金を返済していくくれないのでしょうか。



新日本法規出版『誰にもわかる社会生活六法 法律相談Q&A 第2巻』996ページから

答え

相続人(妻と子)は、相続によって債務も含めて承継することになります。しかし、相続放棄の手続きをとれば債務を免れることができます。

○債務の相続は

夫(被相続人)が債務を負っていた場合、その債務は相続が始まると自ずと分割され、相続人は相続分に

新日本法規出版『誰にもわかる社会生活六法 法律相談Q&A 第2巻』996ページから



債務の相続免れるには

家裁に放棄を申述

応じて引き継ぐことになり

夫が亡くなり、3000万円の債務があったと仮定しましょう。

妻はその相続分の2分の1にあたる1500万円、また子どももその相続分の2分の1にあたる1500万円の債務を引き継ぐことになり

このように債務は、相続

○相続放棄とは

相続人である妻や子が、亡くなった夫の債務の継承を免れるためには、相続放棄の手続きをとる必要があります。

相続放棄は、相続人が家庭裁判所に「相続放棄の申述」を行い、家庭裁判所がこれを受理する方法で行わ

れます。

仮に家庭裁判所と関係なく相続放棄の書類を作ったとしても、債務を免れるという意味での効力は生じません。

一般的にいわれる相続放棄は、遺産を取得しないという意味で使われていま

○相続放棄の効力

相続放棄をすると、被相続人の債務の承継を免れると同時に、被相続人の財産

も承継することができなくなります。

つまり、相続放棄した者は、その相続に関しては初めから相続人とならなかつたものとみなされます。

ご相談の場合、妻と子が相続を放棄すると、被相続人の直系尊属が相続人になります。

また、直系尊属が相続を放棄すると兄弟姉妹が相続人になります。

被相続人の債務を引き継ぎたくなければ、相続人それぞれが相続放棄の手続きをとる必要があります。

○相続放棄の期間

相続人が、被相続人の死亡と同時に相続人になったことも知ったときから3カ月以内に家庭裁判所に申述をしなければなりません。



さらに詳しく知りたい方は、山梨県高齢者総合相談センター(055・254・0110)へお問い合わせください。相談は無料です。



新日本法規出版『誰にもわかる社会生活六法 法律相談Q&A 第2巻』997ページから

## 忍野村社会福祉協議会

広がれ!  
地域福祉

### 心と体の健康づくり目指し 毎月1度「にこにこ教室」

忍野村社会福祉協議会は毎月1回、村内2カ所の老人福祉センターで、高齢者を対象に「にこにこ教室」を開いています。「みんなの笑顔が見たい」と名付けられた教室は、健康体操や音楽鑑賞会などさまざまな企画で盛り上がっています。

今回取材した内野地区の福祉センターでは、「リズムテコンドー教室」が開かれています。参加者は約80人で、男性が約4分の1。最高齢は95歳の女性です。リズムテコンドーは、音楽と武道・格闘技・スポーツを融合させた山梨発祥の健康安全郷育プログラムです。指導するのは「リズムオブラブ」の主宰者・渡辺光美さん。軽快なリズムに合わせて、参加者は「エイ！ヤー！」と元気な声を張り上げます。

童謡に合わせてカスタネットを叩き、体を動かしますが、なかなかリズムが合いません。あちこちで笑いがこぼれました。



童謡に合わせてカスタネットを叩き、体を動かしますが、なかなかリズムが合いません。

リズムに合わせて体を動かすお年寄り

## ボランティアのつなげ方学ぶ

地域を支える

県社会福祉協議会は、市町村社協のボランティアセンター活性化事業として「ボランティアコーディネーター研修会」を開催しています。

本年度は3回シリーズで企画。1回目は8月9日に開催しました。この日は、新潟県柏崎市社会福祉協議会地域福祉課の大塚真光子さんを招いて、「災害ボランティアセンターの活動」について講義を受けました＝写真。

大塚さんは、平成16年に発生した中越大震災をはじめ、これまでに新潟県内で発生した水害や豪雪災害など、いくつもの災害を経験。その度に同市社協は災害ボランティアセンターを立ち上げ、運営してきました。現在も平成19年7月に発生した中

越沖地震のため、復興公営住宅で生活している人たちを支援しています。

研修では、参加者全員で車座になって大塚さんの話に聴き入りました。講義では、災害が発生した直後からの対応や、災害



ボランティアセンターの運営上の問題点などを、当時の写真を使って説明。その後、参加者は4、5人のグループに分かれ、自分の地域で災害が発生したことを想定し、災害時における社協の役割や災害ボランティアセ

ンター運営上の留意点などについて話し合いました。

大塚さんは、人と人のネットワークづくりについて、「仕事の場だけでなく、あらゆる場でネットワークを広めることが大切。お互いに顔が思い浮かぶ関係を持つことは、日常業務はもちろん、緊急時にも大いに役立つ」と強調していました。

次回は9月26日と27日の2日間、「ボランティアコーディネーターとしての企画力の向上」をテーマに、多摩大学准教授の松本祐一さんによる研修を予定しています。市町村社協職員の参加をお待ちしています。詳しくは県社会福祉協議会福祉振興課地域福祉推進担当（電話055・254・8610）まで、お問い合わせください。



## 福祉施設 訪問

### ゆあーずあんどゆうず 地域から信頼される施設を目指して



お弁当を盛り付ける利用者

富士川町長沢にある「ゆあーずあんどゆうず」は、知的障害者通所授産施設です。障がい者が自宅から通って作業をしながら、自立した社会生活を送れるよう支援しています。

仕事の内容は、パン作りやお弁当の盛りつけのほか、企業から電線部品のリサイクル製品や封筒の袋詰め作業なども受託。それぞれの利用者に適したメニューを提供し、作業技術や労働習慣の習得を目指しています。

施設内や隣接する「まほらの湯」にある売店では、地元の加工品も取り扱っています。また、障がい重度でも習得できる作業プログラムを確立し、社会参加できるように、支援に努めています。

主任支援員の波多野浩史さんは「食品を扱っているので、プロ意識を大切にしています。利用者や職員が一人丸となって、おいしいものを提供したい」と話しています。



地元の特産品を利用した「ゆずメロンパン」

#### 施設概要

施設名 社会福祉法人 くにみ会  
知的障害者通所授産施設  
ゆあーずあんどゆうず  
住所 〒400-0505 南巨摩郡富士川町長沢2374-1  
連絡先 TEL 0556・22・8211 FAX 0556・22・8212  
設立 平成13年4月1日  
敷地面積 621.95㎡

延床面積 621.02㎡  
建物構造 鉄筋コンクリート2階建て  
定員 30人  
併設施設 地域活動支援センターⅢ型「富士川ふれあいワークハウス」  
関連施設 社会福祉法人くにみ会 くにみ園・相談支援センター・ますほホームなど



### 小さな芸術家たち

「第30回児童文化奨励絵画展」から  
(全国児童養護施設協議会主催)

<銅賞>

- ◇題名：「ぼくじょう」
- ◇施設名：山梨立正光生園
- ◇学年：年長児

### ちよつと寄り道

8種類の風呂が楽しめる



#### まほらの湯

まほらの湯(富士川町長沢)は、富士川町営の立ち寄り温泉施設です。気泡浴、露天風呂など8種類の入浴が楽しめる。「ゆあーずあんどゆうず」の利用者も仕事帰りによく利用しているそうです。

「まほら」は、「すばらしい場所」「すぐれた立派な場所」を意味します。

充実した設備の中で、くつろいだ空間を堪能してはいかがでしょうか。

# おしらせ



## 福祉の相談窓口

(第2回)

山梨県福祉プラザ（甲府市北新1-2-12）内にある相談窓口を紹介します。

今回は「山梨県障害者相談所」です。

### ■何をするとおこすところですか？

身体に障がいがある方や知的に遅れがある方、及びその家族などからの、専門的な知識や技術が必要な相談に応じています。

身体・知的障がい者の福祉の向上を図ることを目的に、更生援護の専門機関として、平成9年に開設されました。

### ■どんな相談にのっていただけますか？

<身体障がい者>  
 ・手や足が不自由な人  
 ・目が不自由な人  
 ・耳の聞こえが悪い人  
 ・言葉が不自由な人  
 ・内蔵（心臓、腎臓、小腸、肝臓など）機能が悪い人  
 などを対象に、各種福祉サービスの援助を受けるために必要な身体障害者手帳、補装具（義足・義手・車いすなど）、更生医療（日常・社会生活能力や職業能力の回復、または獲得するための医療）、施設入所及び職業に関する相談

<知的障がい者>  
 各種福祉サービスの援助を受けるために必要な療育手帳、年金や手当、生活支援、施設入所及び職業に関する相談について、来所や市町村への巡回、福

祉施設などに出張して受けています。

### ■だれが相談にのっていただけますか。

内容に応じて、身体障害者福祉司や知的障害者福祉司、心理判定員、義肢装具士、看護師及び医師が、専門的立場から懇切、丁寧に対応しますので、気軽に相談してください。

相談時間：午前8時30分から午後5時15分まで（土・日曜日、祝日、12/29～1/3を除く）

電話 055・254・8671

FAX 055・254・8675

富士北麓・東部地域の方は「富士ふれあいセンター」でも相談に応じています。

電話 0555・72・5533

## 案内

### 振興資金(運営資金)貸付

山梨県民間社会福祉施設振興資金は、県内の個人や法人などが営む社会福祉施設の運営に必要な資金の貸付を行います。

- 貸付限度額 200万円以内
- 貸付期間 12カ月以内
- 貸付利率 年2%
- 償還方法 一時償還
- 保証人 連帯保証人1人以上
- 申請・問い合わせ先

山梨県社会福祉協議会  
 福祉振興課（経営支援担当）  
 電話055・254・8610

## 報告

### 善意をありがとう

マックスバリュ東海（寺嶋晋

代表取締役社長）から、県内の市町村社協に車いすが寄贈され、去る6月30日、山梨県福祉プラザで贈呈式が行われました。

同社では、各店舗で回収した牛乳パックやアルミ缶を売却して得た収益金に、同社もほぼ同



マックスバリュ東海株式会社山梨運営部の山本浩規部長（右）から車いすを受け取る甲府市社協の佐藤健会長（左）

額を拠出して車いすを購入、寄贈しています。

今回は甲府市社協ほか12市町村社協に贈呈されました。平成

17年度から始まった県内での寄贈台数は59台になります。

車いすは各市町村社協で実施しているデイサービス事業や地域住民への貸し出しなど、有効に活用されています。

## 係から

### 広報誌バックナンバーのご案内

県社協広報誌「やまなしの福祉」既刊号は、ホームページ（<http://www.y-fukushi.or.jp/>）に掲載しています。

ホームページを開き、福祉情報「やまなしの福祉」をクリックするとご覧いただけます。

### ●問い合わせ先

山梨県社会福祉協議会  
 総務企画課

（企画・広報担当）

電話055・254・8610